

令和元年度第1回タウンミーティング開催報告

日時：令和2年1月17日（金）

15時から16時15分まで

対象：大和大学政治経済学部 of 学生（17名）

市長より「自治体なるもの～変化を読み将来を想定する～」と題し、講演を行った後、講演の内容を踏まえ意見交換を行いました。主な内容は以下のとおりです。

1 講演

前半は、吹田市の特徴について、後半は、社会の変化を読み将来を想定することの重要性を伝えました。将来人口の様々なデータなどを用いて、将来社会を想定した自治体経営について次のように講演しました。

「少子超高齢社会はあと20年続き人口減少は止まりません。その結果、都市周辺への人口流入現象が続き、自治体間の経済格差は拡大します。豊かさの分配から痛みを共有へと時代が変わりゆく中で生きていく私達の答えは、自治体間の競争ではなく、高度経済成長の以前にあるのではないのでしょうか。」



2 意見交換の主な内容

学生 SDGsについて、吹田市はどのような取組をしていますか。

市長 SDGsは各国で達成するよう約束した17個の目標ですが、市役所の業務はこれらを全てカバーしています。

学生 パナソニック SST について詳しくお聞かせください。

市長 パナソニックがつくった持続可能なまちのモデルで、日本で3番目のまちが健都に隣接する土地にできます。環境や医療、エネルギーといったさまざまな分野で企業が最先端の技術を持ち込み、2年後に完成予定です。

学生 吹田市内の高齢化が進んでいる地域に関して、考えていることはありますか。

市長 高齢化は人類の夢である長生きが実現した喜ぶべきこと。寿命の延びに対して社会保障制度が追いつかないため問題になっている点については、今後考えていきたい。